

「社会のなかの自分」に関する調査報告書

SNS時代の「わたし」の在り方を探る

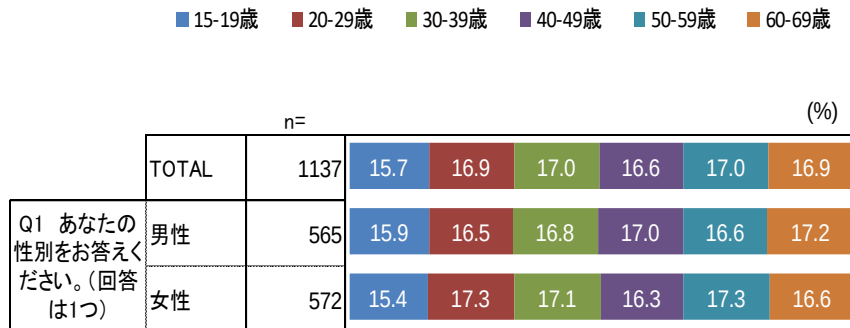
2018年7月3日

調査設計

調査目的	現代社会における自己アイデンティティと社会(世間)との関係性について把握する。
調査手法	インターネット調査 (インテージ・ネットモニター使用)
調査エリア	全国
調査対象	・全国の男女15～69歳 ・サンプル数 960 ・割付: 性(2) × 年代(6) × 政令指定都市・政令指定都市以外(2) = 24で均等割付(各セル40) ※対象除外業種・・・マスコミ・広告・新聞・放送業
調査内容	・設問数: 40問以内 ※弊社カウントによる ※コンセプト文は1つ70文字以内 ・設問: 1) 自己アイデンティティの内容 2) 自己アイデンティティの形成要因 3) アイデンティティ形成に関する志向性 4) 世論・社会的風潮への同調性や反応 5) 倫理25への共感度 等
調査期間	2017/12/15(金)～2017/12/18(月)

回答者構成

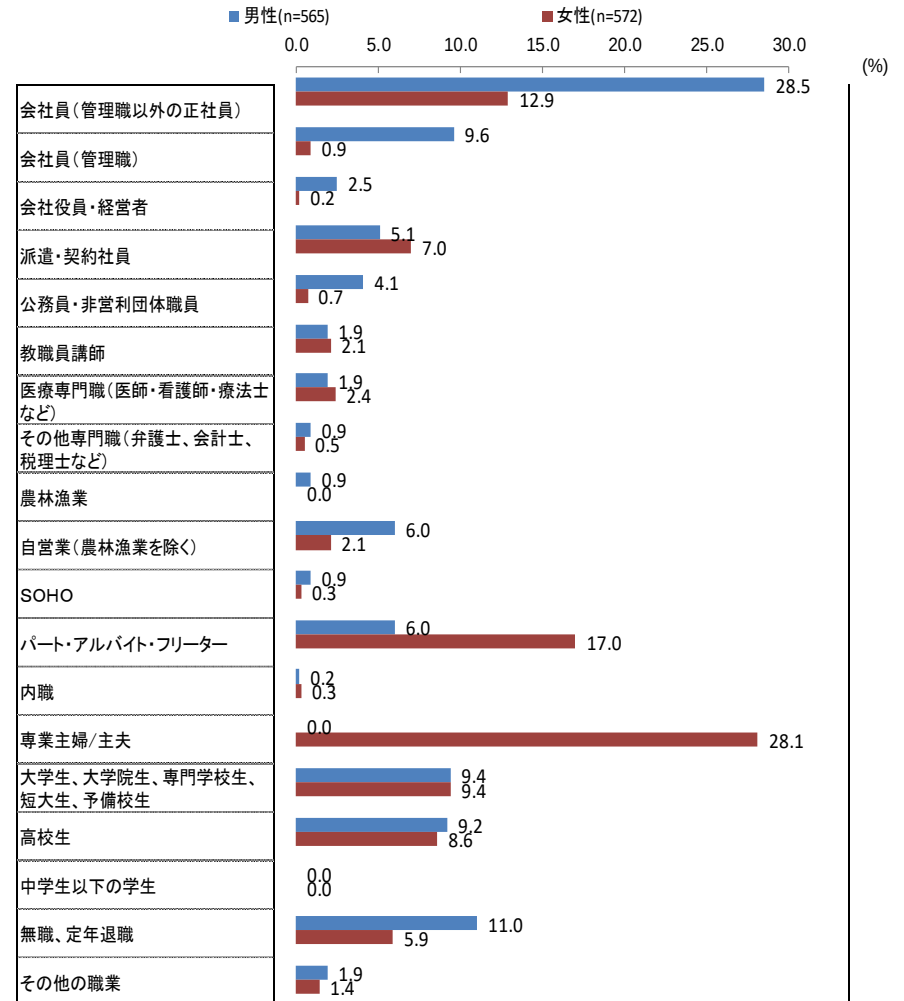
表頭: * 年代



表頭: * 設計 (政令指定都市)



表頭: [属性] 職業





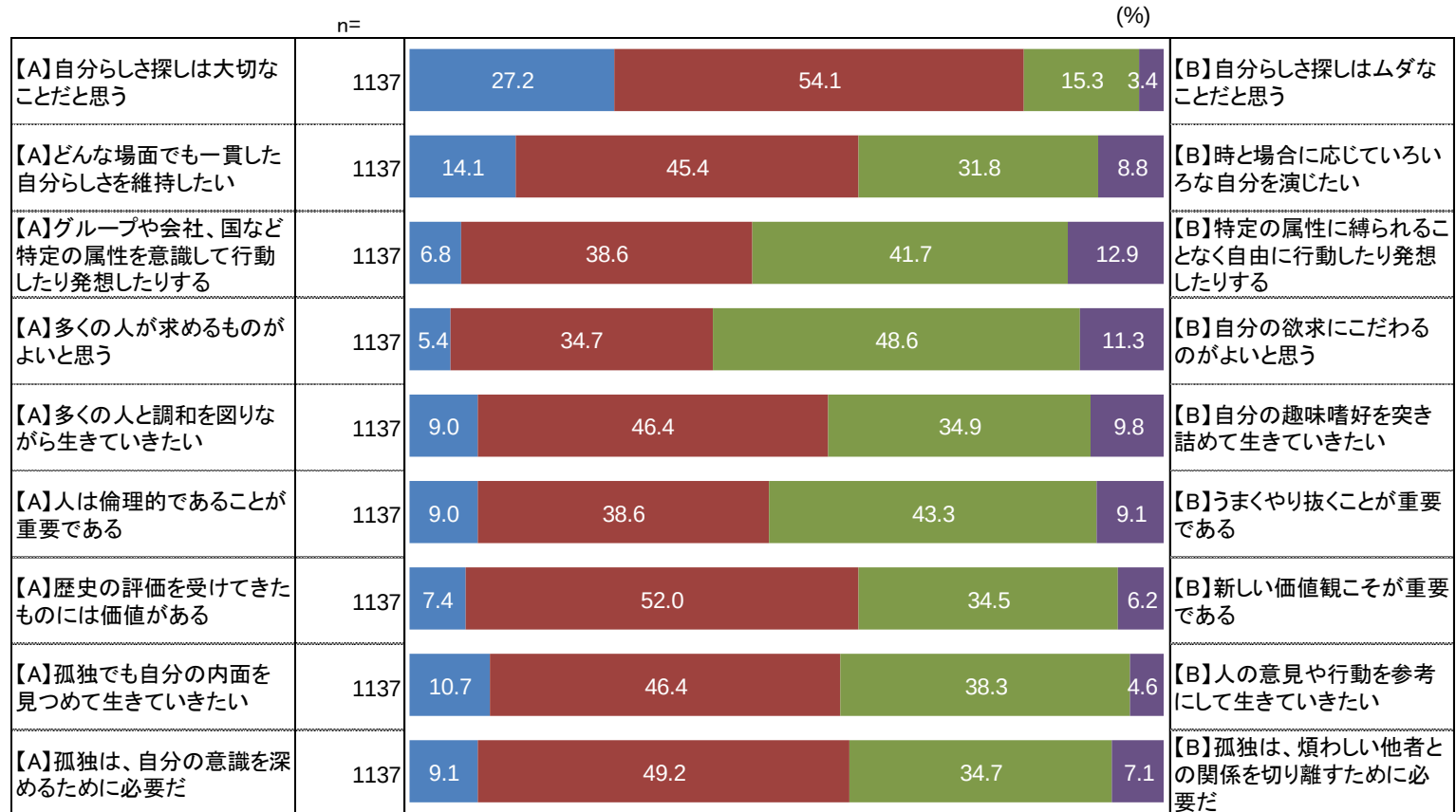
アイデンティティの状況

アイデンティティに対する考え方(Q10)

- 自分らしさ探しは8割以上が大切なことと考えている。個別に見ていくと、従来から強固な付和雷同型の考え方から、個人主義的あるいは実利主義的な考え方が優位になっていることがわかる。

Q10 次のA・Bのうち、あなたのお考えにちかいはどちらですか。(回答は1つ)

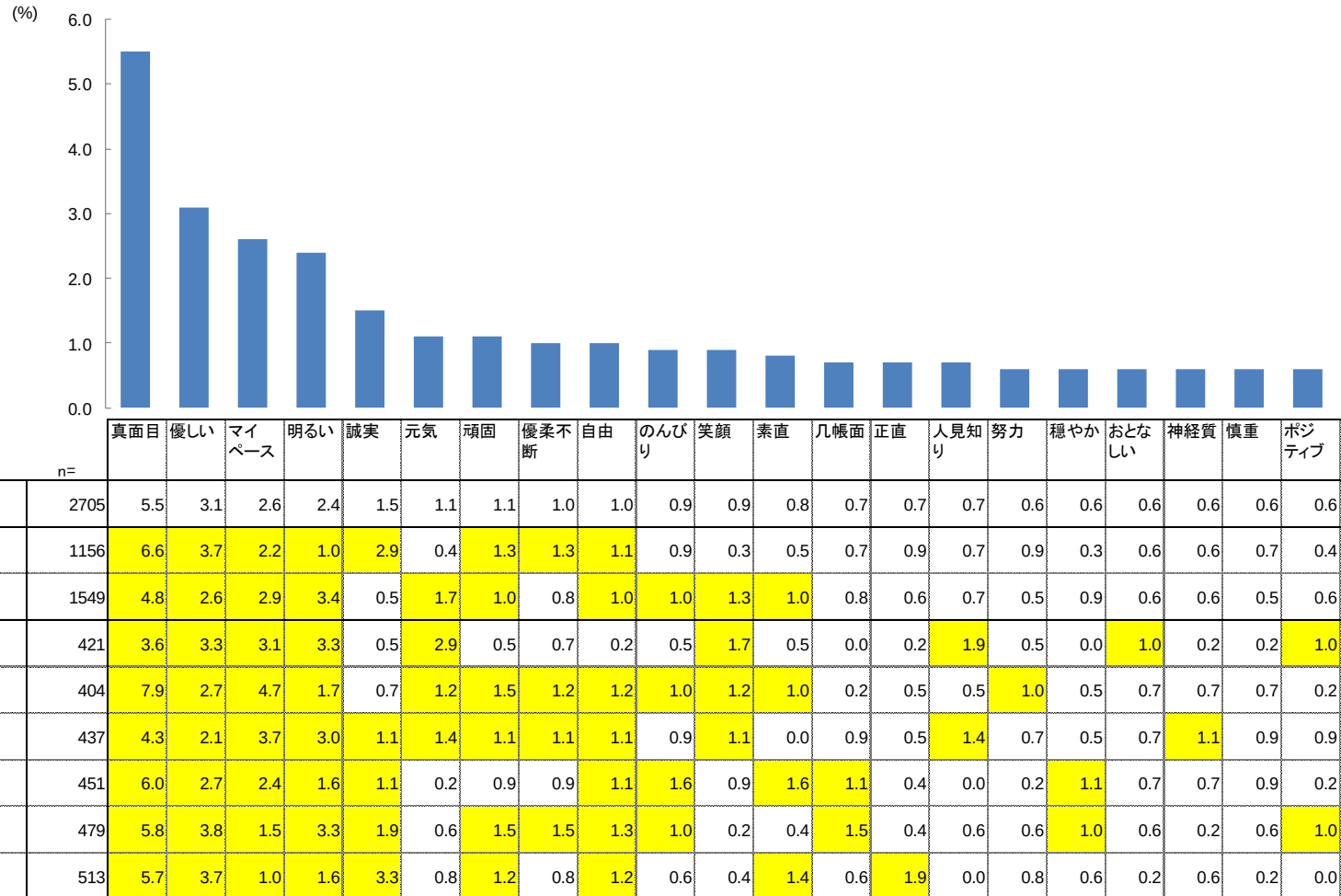
■ Aに近い ■ どちらかといえばAに近い ■ どちらかといえばBに近い ■ Bに近い



自分らしさの表現(Q3～Q5)

- 日本人の多くは、自分らしさを表すフリーワードとして「真面目」「優しい」「マイペース」などを多く上げる傾向がある。

表頭：＊ 自分らしさを表す言葉や、あなた自身によくあてはまると思う言葉を5つまであげてください。(回答は具体的に)



自分らしさの表現(Q3～Q5)

●年代別に見ると若年男性は自らを「大人しい」と分析し、年代効果で責任感が強くなる傾向。女性は年代を問わず「明るい」が高い。また女性は20代から「責任感の強い」が上がってくるのが興味深い。

男性15-19歳		男性20-29歳		男性30-39歳		男性40-49歳		男性50-59歳		男性60-69歳	
n=	90	n=	93	n=	95	n=	96	n=	94	n=	97
大人しい	32.2	大人しい	20.4	目立たない	21.1	責任感の強い	22.9	気配りができる	27.7	責任感の強い	40.2
明るい	21.1	冷静	20.4	冷静	21.1	几帳面	19.8	責任感の強い	25.5	気配りができる	30.9
責任感の強い	20	目立たない	19.4	几帳面	20	大人しい	19.8	几帳面	24.5	几帳面	29.9
気配りができる	18.9	几帳面	18.3	気配りができる	18.9	目立たない	18.8	謙虚	24.5	信頼できる	25.8

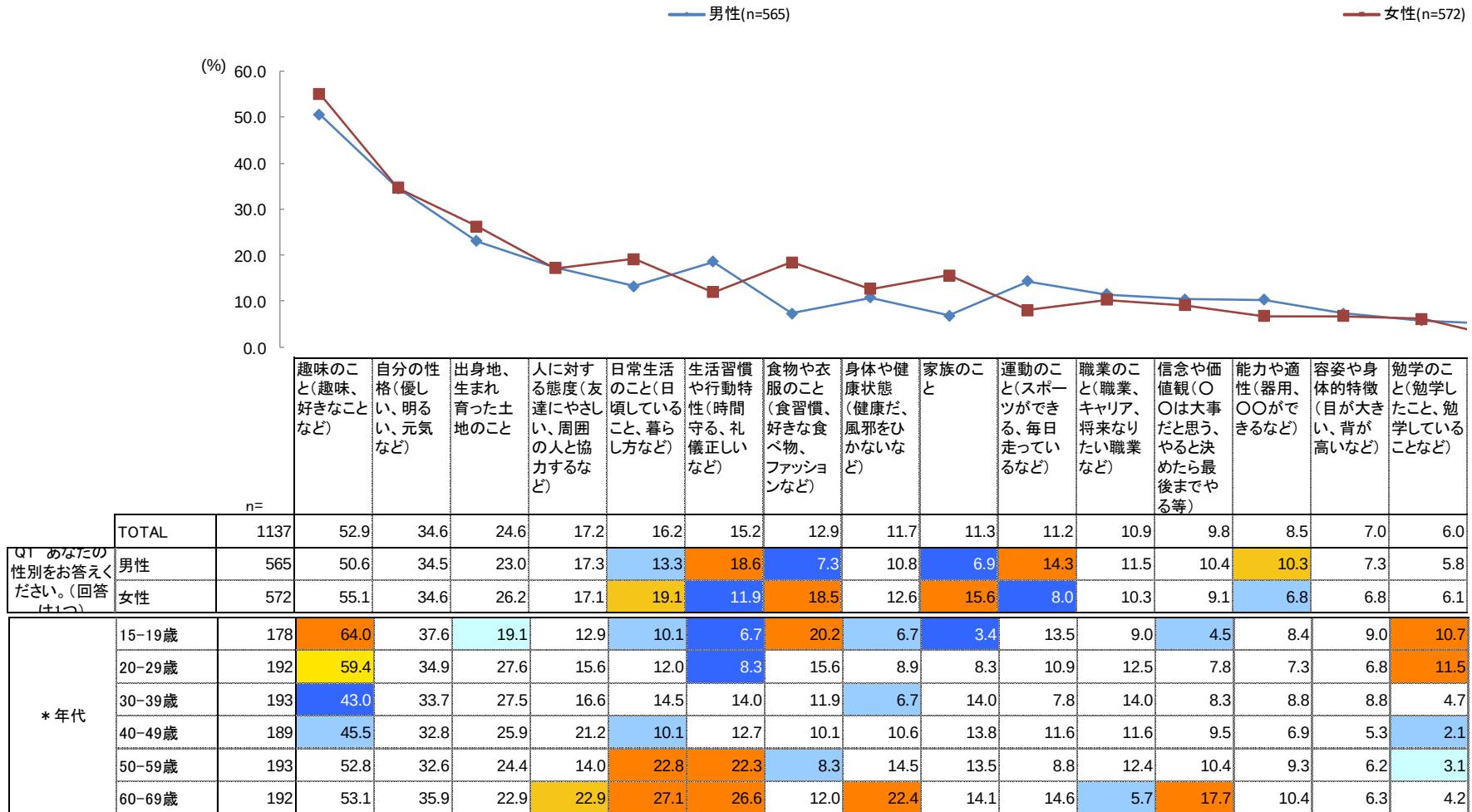
女性15-19歳		女性20-29歳		女性30-39歳		女性40-49歳		女性50-59歳		女性60-69歳	
n=	88	n=	99	n=	98	n=	93	n=	99	n=	95
明るい	40.9	責任感の強い	27.3	明るい	36.7	明るい	28	明るい	32.3	気配りができる	41.1
ためらいがち	31.8	気配りができる	25.3	責任感の強い	33.7	大人しい	23.7	責任感の強い	29.3	責任感の強い	40
遊び好き	30.7	大人しい	24.2	平凡	30.6	責任感の強い	22.6	気配りができる	25.3	几帳面	30.5
感情的	27.3	ためらいがち	23.2	几帳面	29.6	几帳面	21.5	平凡	23.2	明るい	30.5

※性年代別にキーワード選択のTOP4項目を通過

自分らしさの表現(Q3～Q5)

- 多くの場合、自分らしさとは「趣味」「性格」「出身地」「人への態度」などで語られる傾向が強い。
- 女性と高年層は「日常生活(暮らし方)」「食物や衣服」「家族」など、ライフスタイルを自分らしさと捉える傾向が強い。

表頭: Q5 次にあげる事柄のうち、あなたが自己紹介などで自分らしさを示すためによく触れる事柄をお答えください。(回答はいくつでも)※自己紹介する機会がない方も、する場合



アイデンティティの安定性(Q6)

●「谷の自我同一性尺度」*を用いて、アイデンティティの安定性を測定した。各尺度の回答は下記の通りである。

Q6 次の事柄について、あなたのお考えにちかいものをお答えください。(回答は1つ)

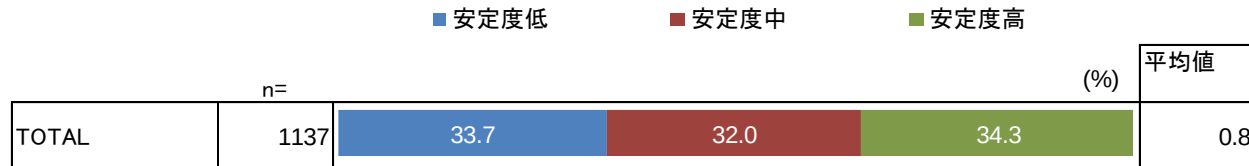
■ あてはまる ■ ややあてはまる ■ どちらともいえない ■ ややあてはまらない ■ あてはまらない

	n=	(%)				
過去において自分を無くしてしまったように感じる	1137	8.2	23.1	30.4	18.9	19.3
過去に自分自身を置き去りにしてきたような気がする	1137	7.6	19.6	28.9	21.5	22.3
いつのまにか自分が自分でなくなってしまうような気がする	1137	6.8	19.6	27.5	22.3	23.8
今のままでは次第に自分を失っていつてしまうような気がする	1137	6.3	17.9	28.1	21.9	25.8
「自分がない」と感じることもある	1137	8.3	20.7	25.0	20.2	25.9
自分が望んでいることがはっきりしている	1137	11.2	30.7	34.8	17.0	6.3
自分がどうなりたいのかはっきりしている	1137	10.1	29.0	34.7	18.3	7.9
自分がすべきことがはっきりしている	1137	9.6	31.9	34.8	16.5	7.1
自分が何をしたいのかよくわからないと感じるときがある	1137	12.3	27.8	31.9	17.5	10.5
自分が何を望んでいるのかわからなくなることがある	1137	9.9	26.7	32.5	17.9	12.9
自分の周りの人々は本当の私を分かっていると思う	1137	12.0	24.2	43.5	13.9	6.4
自分は周囲の人々によく理解されていると感じる	1137	2.2	17.3	46.2	23.8	10.5
人に見られている自分と本当の自分は一致しないと感じる	1137	11.2	30.7	40.9	12.2	5.0
本当の自分は人には理解されないだろう	1137	12.7	25.5	40.4	15.0	6.5
人前での自分は、本当の自分ではないような気がする	1137	11.1	24.0	39.8	16.8	8.4
現実の社会のなかで自分らしい生き方ができると思う	1137	4.9	25.2	43.4	18.2	8.4
現実の社会のなかで自分らしい生活が送れる自信がある	1137	4.1	24.9	43.4	19.6	8.0
現実の社会のなかで自分の可能性を十分に実現できると思う	1137	3.9	21.0	45.5	20.1	9.5
自分らしく生きてゆくことは、現実の社会のなかでは難しいだろうと思う	1137	9.7	26.0	41.9	15.7	6.8
自分の本当の能力を生かせる場所が社会にはないような気がする	1137	6.2	17.7	46.4	20.1	9.6

アイデンティティの安定性(Q6)

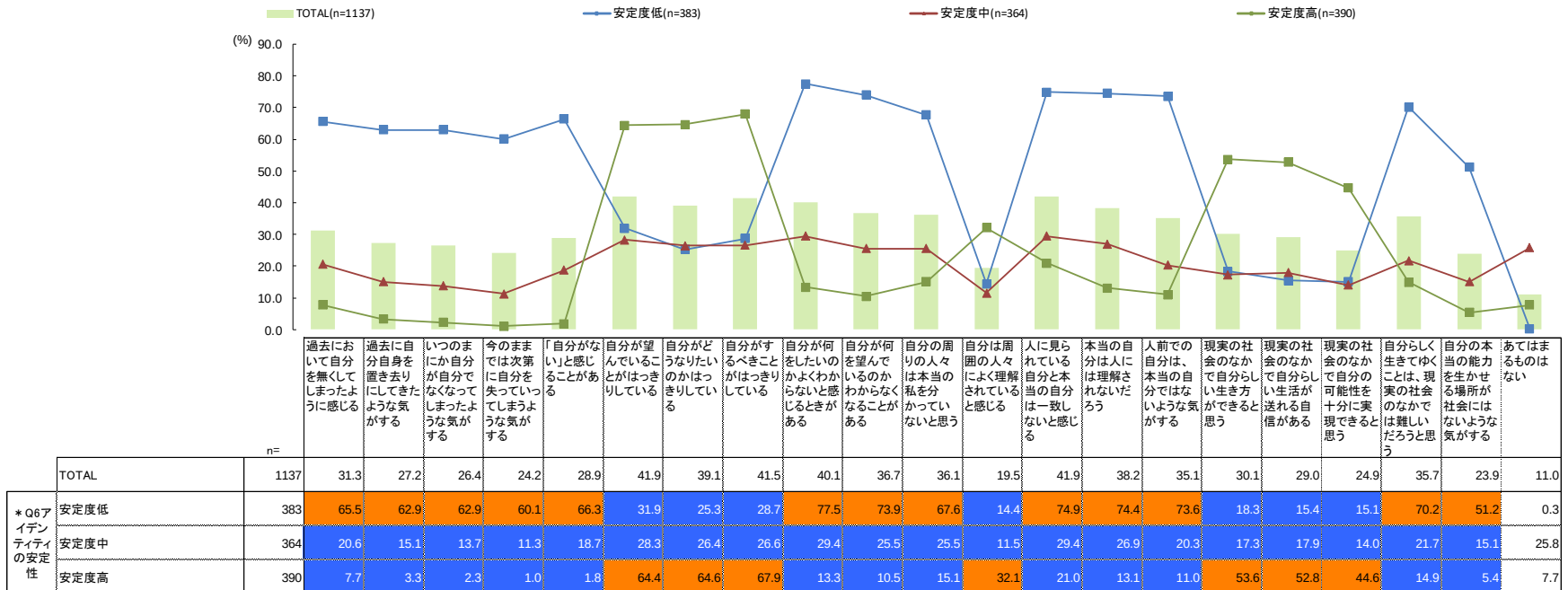
- 自我同一性尺度の合計得点によって安定性を便宜的に3階層に区分し、以後の分析に用いることとした。
- 「安定度高」はなりたいたい自分・すべきこと・したいことを6割以上が自覚し、5割以上が社会の中で自分らしく生きられると感じている。「安定度低」は、反対に、自分を捉えられず疎外感を感じている。

表頭：* Q6アイデンティティの安定性



※合計得点は前頁の各尺度を「あてはまる」-2点、「あてはまらない」2点として、一部尺度は点数逆転で計算した値

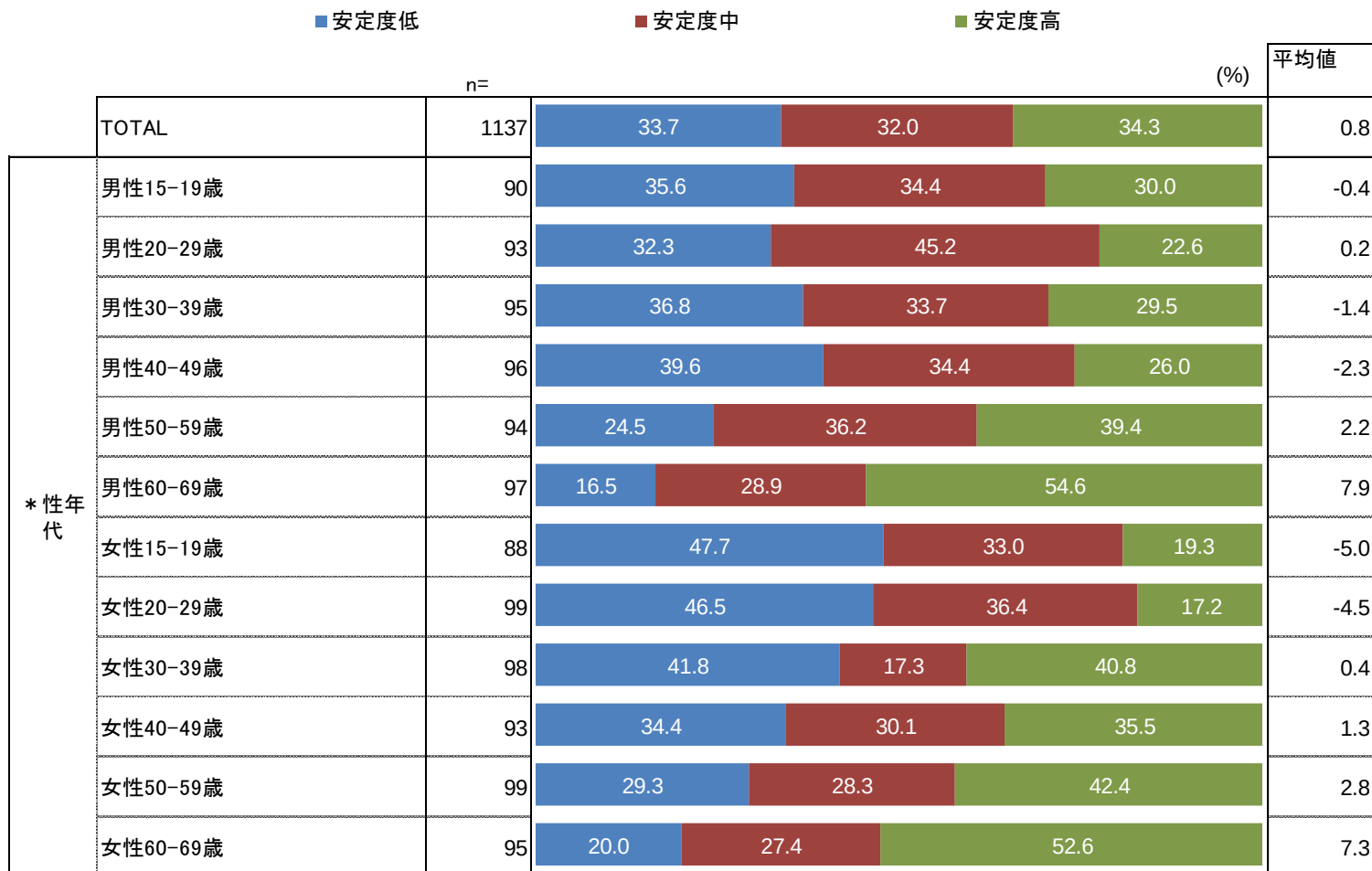
表頭：* Q6 次の事柄について、あなたのお考えにちかいものをお答えください。(回答は1つ) <「あてはまる」「ややあてはまる」の合計割合>



アイデンティティの安定性(Q6)

- 安定性の低い層は女性の方が多い傾向を示す。
- 女性は年代が高いほど安定性が増していく傾向が男性よりも明確。男性は10代や30～40代でやや安定性が低い。

表頭：＊ Q6アイデンティティの安定性



アイデンティティの類型(Q8)

- 自己意識の一元性・多元性を知るために3つの質問をし、その結果から5つの類型を作成してみた。
- 5類型の中では「仮面使分け型」がもっとも多い。

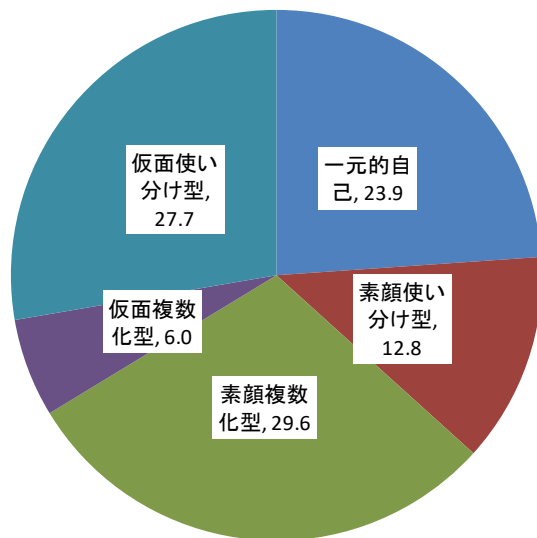
Q8 次の事柄について、あなたのお考えにちかいものをお答えください。(回答は1つ)

■ あてはまる ■ ややあてはまる ■ どちらともいえない ■ ややあてはまらない ■ あてはまらない

	n=	(%)				
自分はいろんな顔を持っている・多元的である	1137	8.0	29.0	39.1	17.0	6.9
相手や場によって自分の顔を意識的に使い分けている	1137	9.4	35.9	35.3	13.3	6.2
使い分けている自分の顔の中には「本当の自分」「偽の自分」がある	1137	11.0	27.2	38.4	15.3	8.1

表頭: * Q8アイデンティティの類型

■ 一元的自己 ■ 素顔使い分け型 ■ 素顔複数化型 ■ 仮面複数化型 ■ 仮面使い分け型



一元的自己: 自分はいろんな顔を持ってないと答えた人 (Q8(1)>=4)

素顔使い分け型: 意識的に複数の顔は使い分けているが偽の自分がない人 (Q8(1)<=3&Q8(2)<=2&Q8(3)>=3)

素顔複数化型: 意識的にではないが複数の素顔を使い分けている人 (Q8(1)<=3&Q8(2)>=3&Q8(3)>=3)

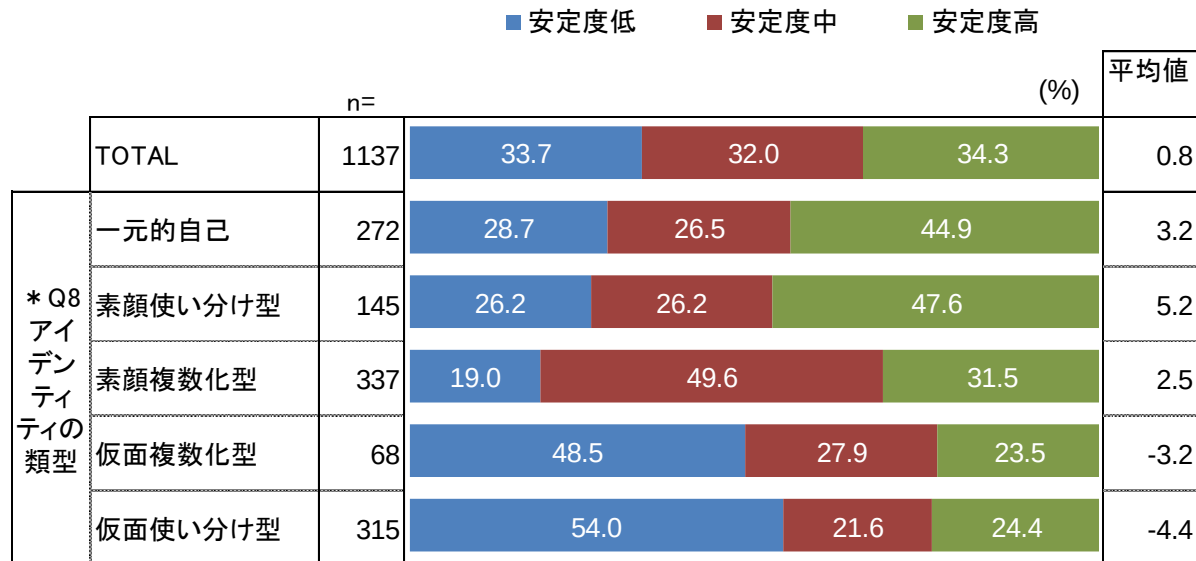
仮面複数化型: 意識的にではないが本当・偽の顔を使い分けている人 (Q8(1)<=3&Q8(2)>=3&Q8(3)<=2)

仮面使い分け型: 意識的に本当・偽の顔を使い分けている人 (Q8(1)<=3&Q8(2)<=2&Q8(3)<=2)

アイデンティティの類型(Q8)

- アイデンティティの安定性が高のもっとも高いのは「素顔使い分け型」で、次いで「一元的自己」が高い。
- 「仮面使い分け型」はもっとも安定性が低い。

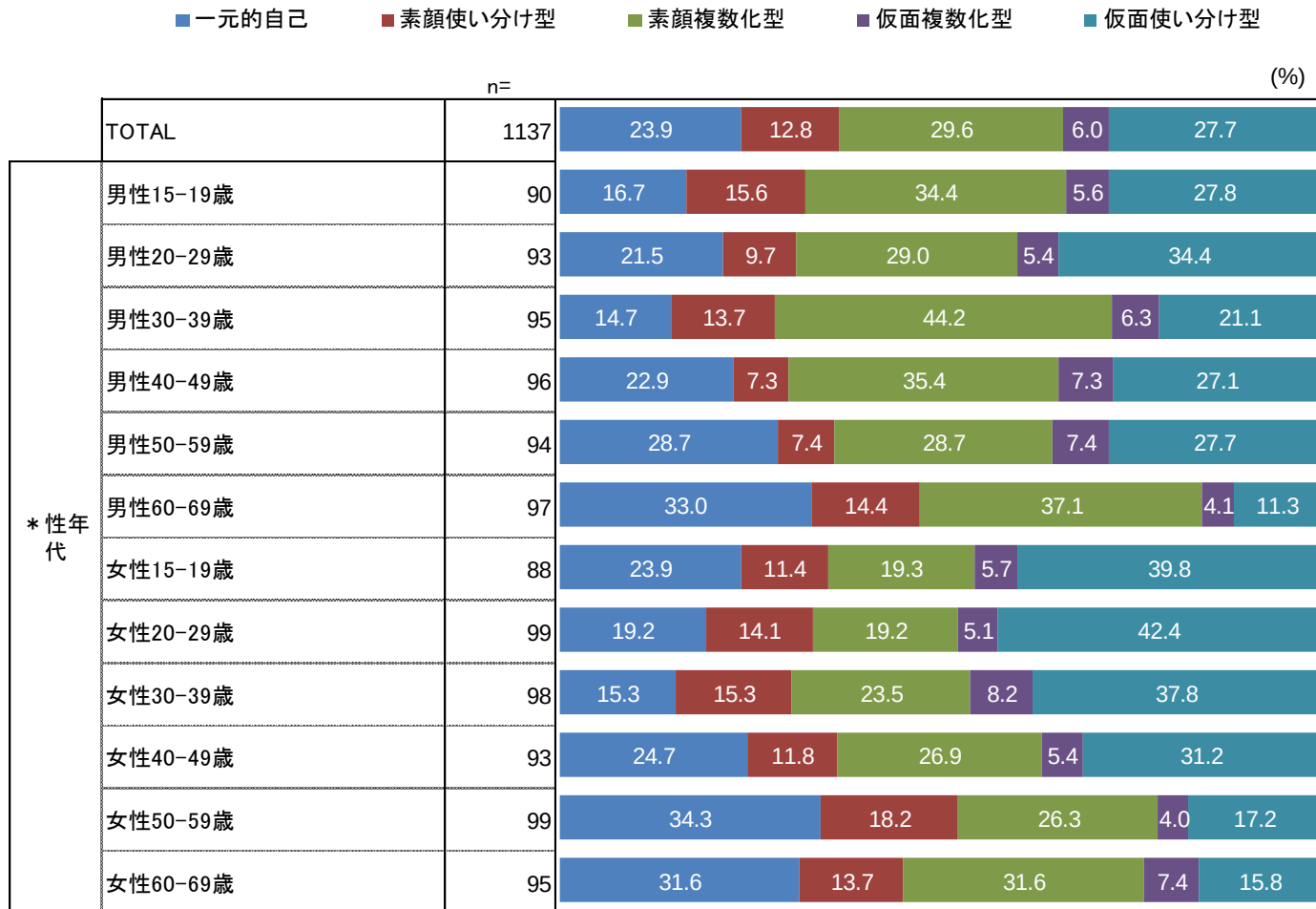
表頭：* Q6アイデンティティの安定性



アイデンティティの類型(Q8)

- 若年女性は「仮面使い分け型」の比率が高いと言える。50代以上で大幅に減少する。
- 男女とも「素顔複数型」「一元的自己型」が高年代になると増加する傾向がありそう。

表頭: * Q8アイデンティティの類型

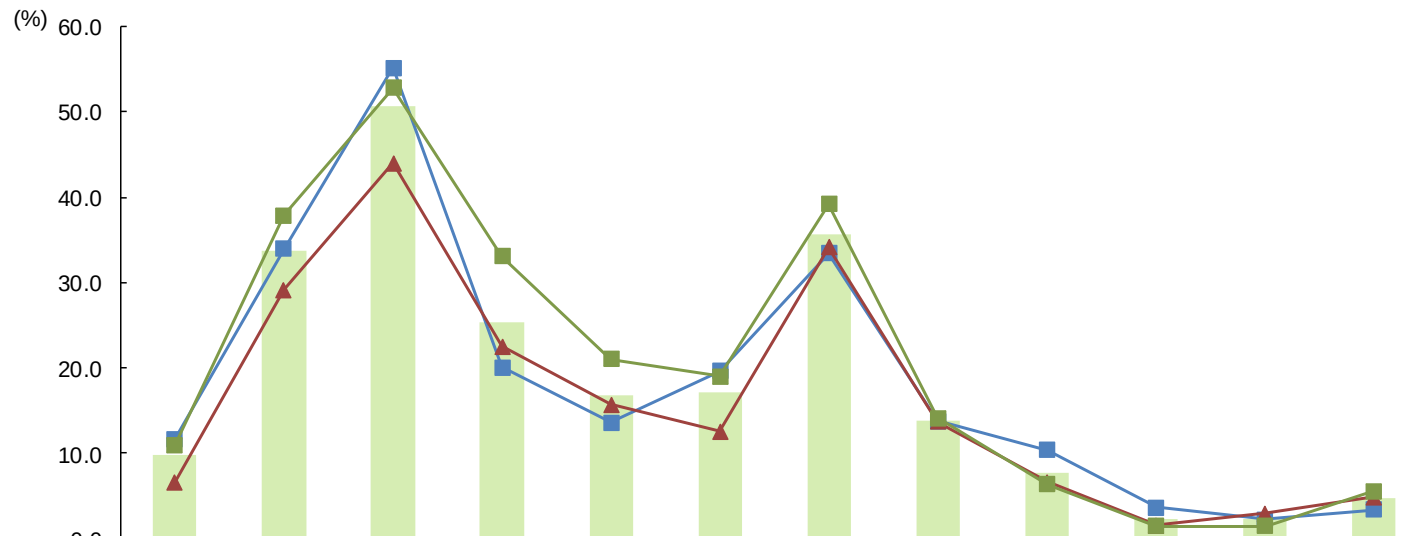


アイデンティティの形成要因(Q9)

- 自分らしさは母親、父親、さらに友人との関係の影響が大きいと答える人が多い。

表頭: Q9 次の人間関係のうち、あなたの「自分らしさ」はどの関係の影響を大きく受けていると思いますか。(回答はいくつでも)

■ TOTAL(n=1137) ● 安定度低(n=383) ● 安定度中(n=364) ● 安定度高(n=390)



n=			祖父母との関係	親子関係（父親との関係）	親子関係（母親との関係）	夫婦関係	自分と子どもとの関係	職場の人間関係	友人との関係	趣味の関係	恋人等との関係	SNS上の不特定多数との関係	SNS上の特定の人たちとの関係	その他 具体的に:
	TOTAL	1137	9.9	33.8	50.7	25.3	16.8	17.2	35.6	13.9	7.8	2.3	2.3	4.7
* Q6アイデンティティの安定性	安定度低	383	11.7	33.9	55.1	20.1	13.6	19.6	33.4	13.8	10.4	3.7	2.3	3.4
	安定度中	364	6.6	29.1	44.0	22.5	15.7	12.6	34.1	13.7	6.6	1.6	3.0	4.9
	安定度高	390	11.0	37.9	52.8	33.1	21.0	19.0	39.2	14.1	6.4	1.5	1.5	5.6

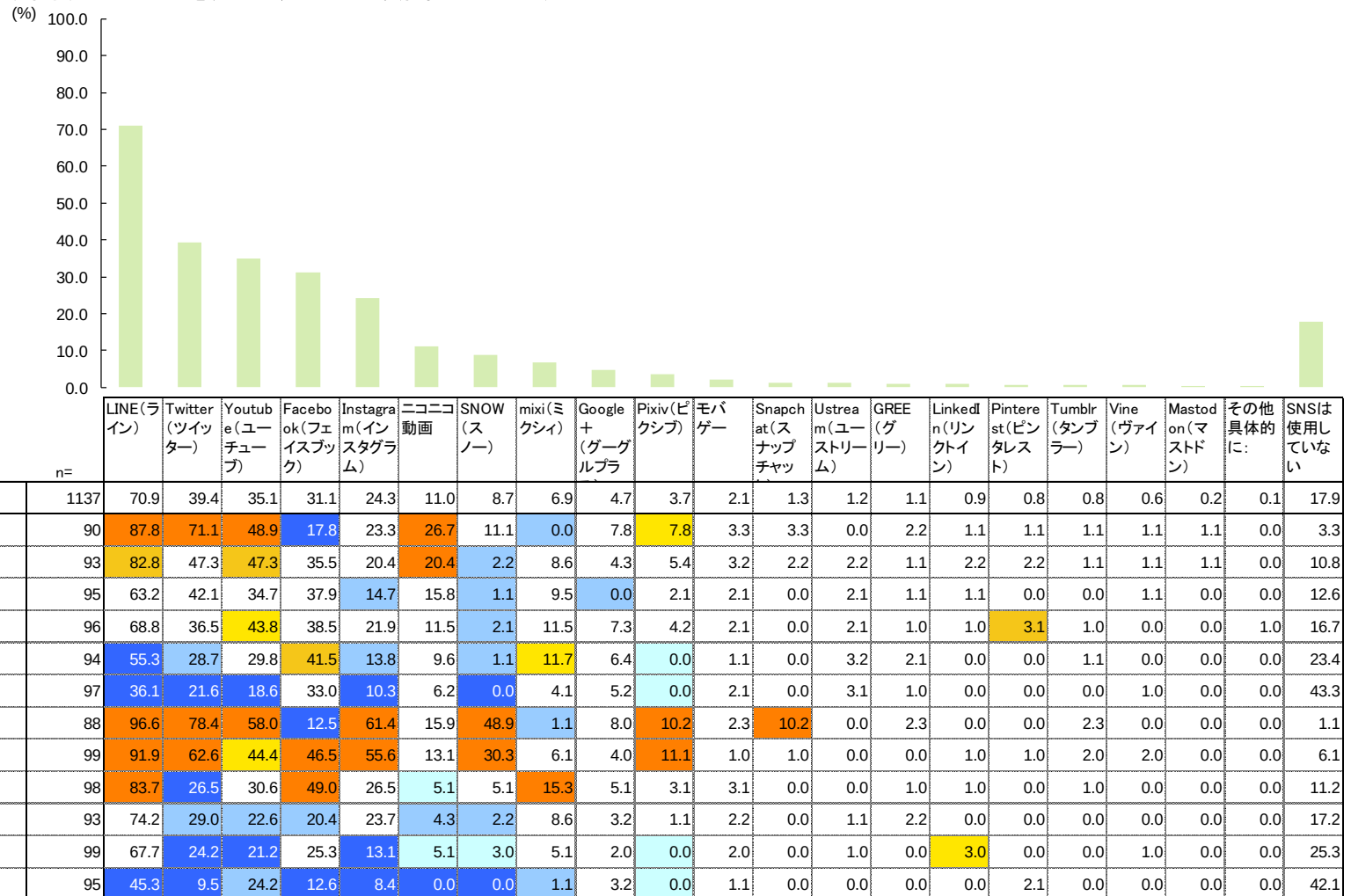


SNSとアイデンティティ

SNSの利用状況(Q14～Q18)

- SNS利用率は8割以上で、LINE、Twitter、Youtube、Facebook、Instagramは2割以上が利用している。
- ※ネットモニターはネット利用率が高いと考えられるため注意が必要

表頭: Q14 あなたが現在利用しているSNSをすべてお選びください。(回答はいくつでも)



SNSの利用状況(Q14～Q18)

- SNS利用者中、「いいね」は7割が、いわゆる拡散は6割近くが行った経験がある。
- 全対象者中、現在も「いいね」をしている人は5割近くに達する。

Q18 あなたはSNSで次のことをどのくらいしていますか。(回答は1つ)

■ よくしている ■ たまにしている ■ 過去にしたことはある ■ したことがない

	n=	n= (%)			
自分自身で投稿する	933	14.8	32.8	18.3	34.1
他人の投稿や記事をシェアする	933	10.1	28.3	17.8	43.8
他人の投稿や記事に「いいね」をする	933	24.3	32.4	14.1	29.2
他人の投稿や記事にコメントをする	933	6.3	35.8	19.4	38.5

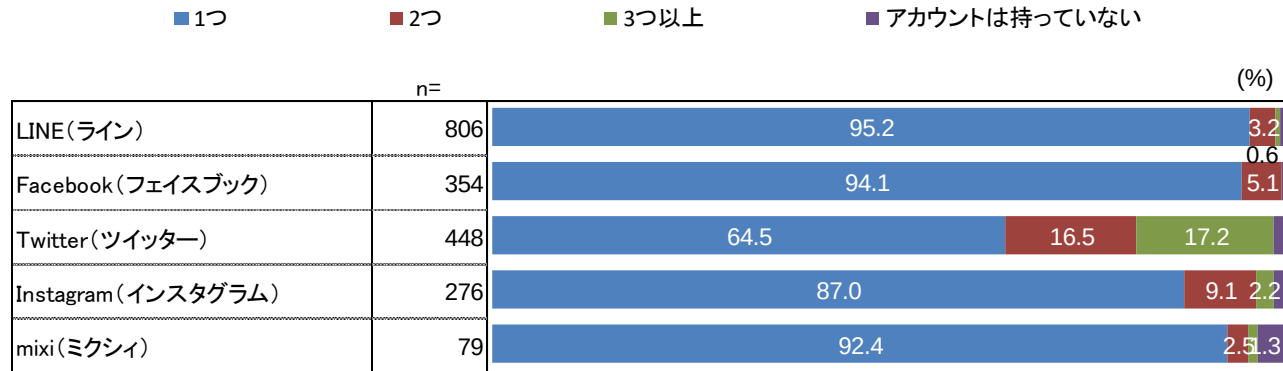
表頭: * Q18 あなたはSNSで次のことをどのくらいしていますか。(回答は1つ)
 <「よくする」「たまにする」の合計割合>
 (%)

		n=	他人の投稿や記事に「いいね」をする	自分自身で投稿する	他人の投稿や記事にコメントをする	他人の投稿や記事をシェアする
* 性年代	TOTAL	1137	46.5	39.1	34.6	31.5
	男性15-19歳	90	65.6	62.2	54.4	50.0
	男性20-29歳	93	45.2	45.2	31.2	37.6
	男性30-39歳	95	45.3	32.6	28.4	27.4
	男性40-49歳	96	38.5	35.4	28.1	20.8
	男性50-59歳	94	43.6	37.2	29.8	27.7
	男性60-69歳	97	32.0	22.7	18.6	18.6
	女性15-19歳	88	86.4	76.1	71.6	72.7
	女性20-29歳	99	69.7	62.6	54.5	46.5
	女性30-39歳	98	49.0	42.9	50.0	24.5
	女性40-49歳	93	41.9	28.0	26.9	25.8
	女性50-59歳	99	24.2	16.2	16.2	14.1
	女性60-69歳	95	21.1	11.6	8.4	16.8

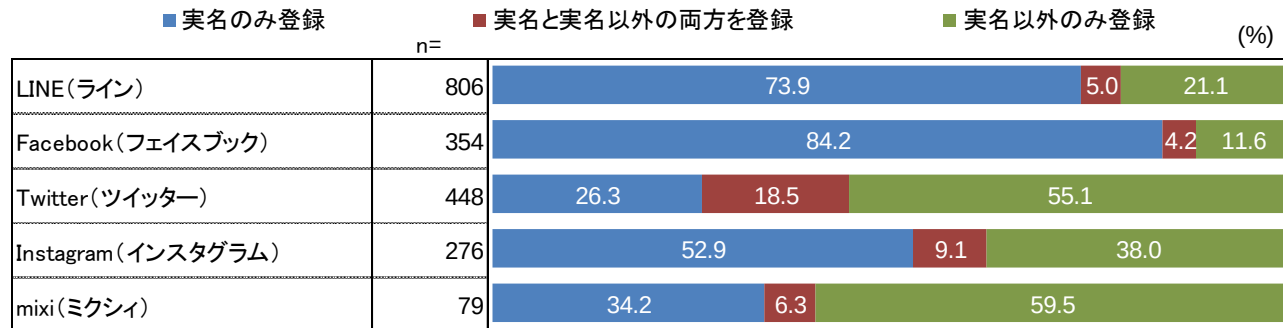
SNSの利用状況(Q14～Q18)

- LINEやFacebookは1アカウントを実名で使用する人が多い。
- Twitterやmixiは実名以外を使用する人が多い。

Q15 あなたが現在利用しているSNSでアカウントをいくつお持ちですか。(回答は1つ)



Q16 あなたが現在利用しているSNSのアカウント名は実名ですか。(回答は1つ)



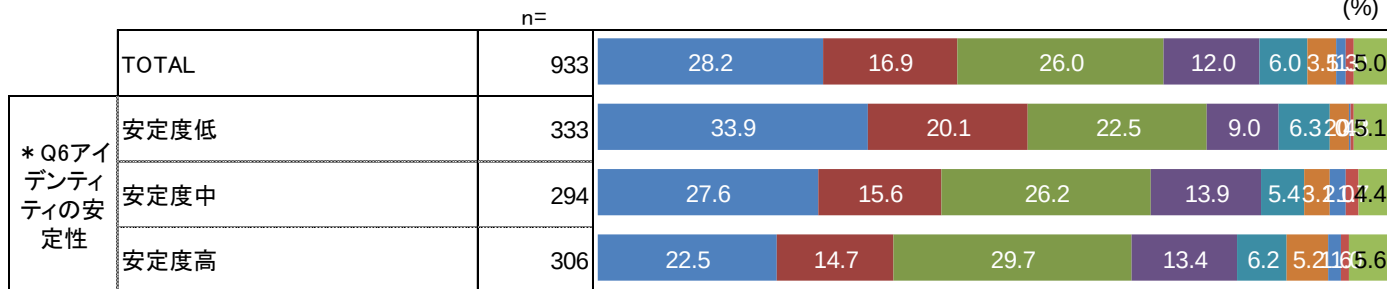
アイデンティティとSNSの利用

● SNSの利用頻度は、アイデンティティの安定性が低いほど高い。

※ 安定性は若年層や女性で相対的に低いことも関係していると考えられる。

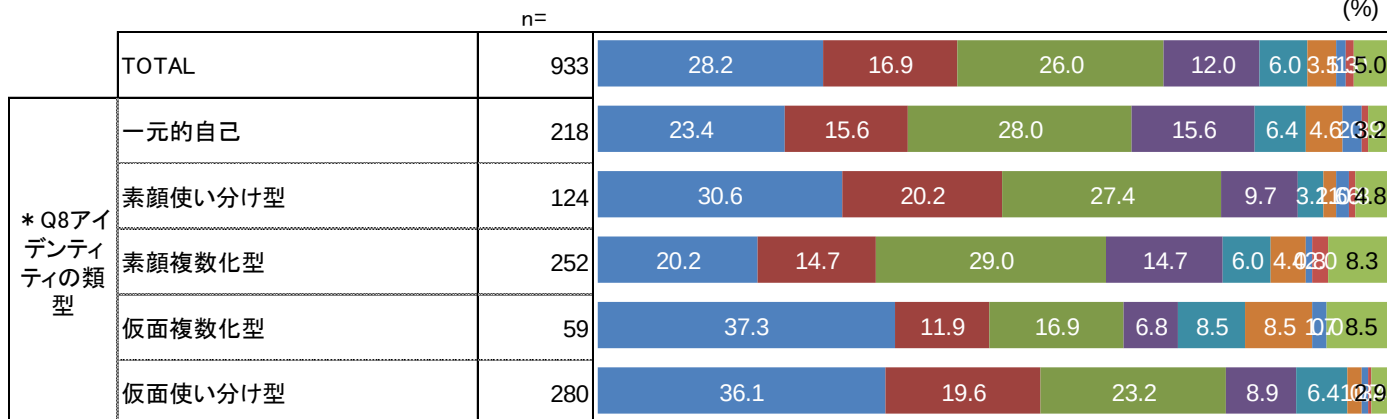
表頭: Q17 あなたは最も使っているSNSのサイトやアプリに、どのくらいの頻度でアクセスしていますか。(回答は1つ)

- 1日に10回以上
- 1日に5～9回
- 1日に2～4回
- 1日に1回
- 2, 3日に1回
- 1週間に1回程度
- 2週間に1回程度
- 月に1回程度
- それ以下、ほとんど利用していない



表頭: Q17 あなたは最も使っているSNSのサイトやアプリに、どのくらいの頻度でアクセスしていますか。(回答は1つ)

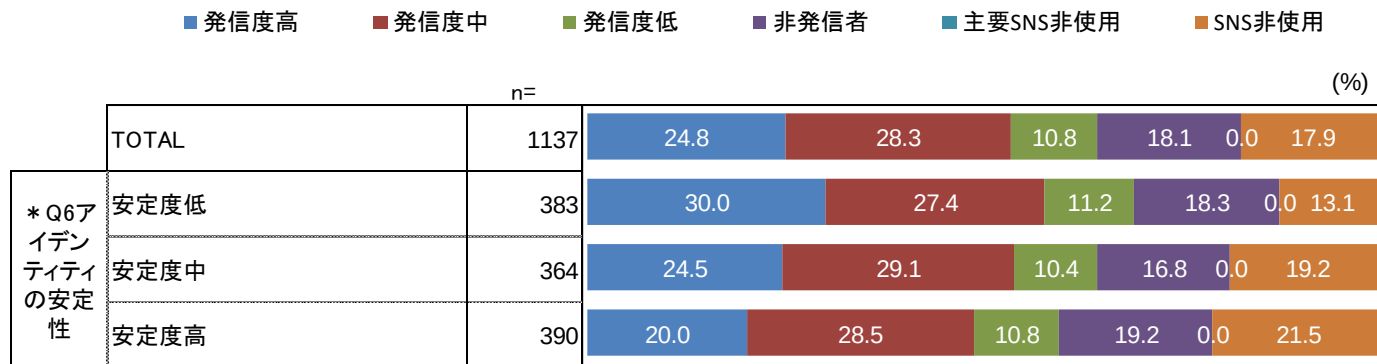
- 1日に10回以上
- 1日に5～9回
- 1日に2～4回
- 1日に1回
- 2, 3日に1回
- 1週間に1回程度
- 2週間に1回程度
- 月に1回程度
- それ以下、ほとんど利用していない



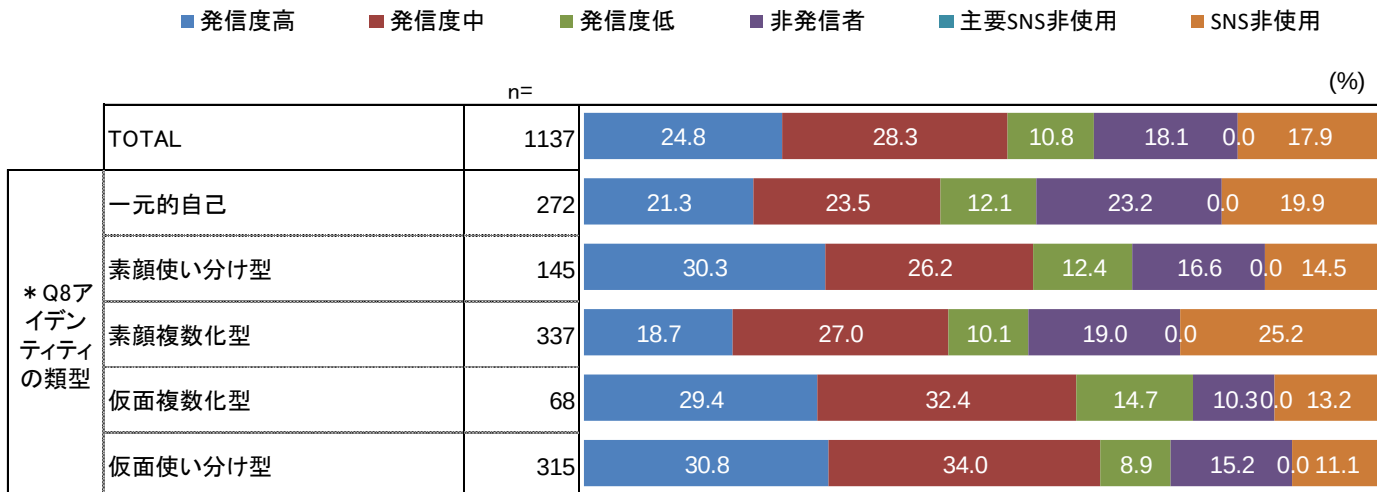
アイデンティティとSNSの利用

- SNSの発信度は、アイデンティティの安定性が低いほど高い。
- ※ 安定性は若年層や女性で相対的に低いことも関係していると考えられる。

表頭：* SNS発信度



表頭：* SNS発信度



※ SNS発信度：Q18のSNSリアクション状況から発信度を3段階に区分

倫理観とアイデンティティ

倫理観(Q12)

●倫理観への共感度は、「困難を喜ぶ」以外はいずれも5割以上みられる。

Q12 以下にさまざまな価値観や倫理観などが列記されています。それぞれの項目について、あなたは個人的にどの程度「共感できる」と思いますか。(回答は1つ)

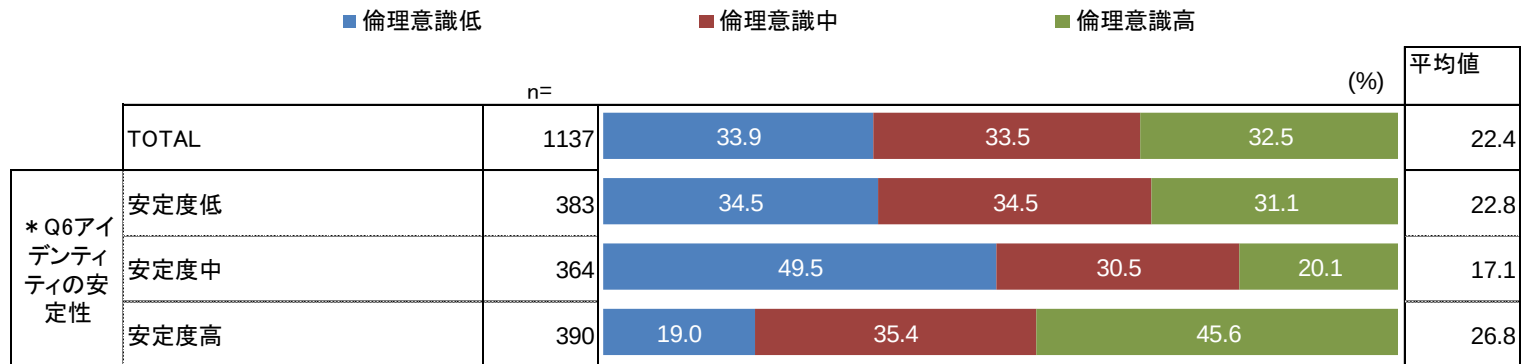
■とても共感できる ■まあ共感できる ■どちらともいえない ■あまり共感できない ■まったく共感できない

	n=	(%)					平均値
父母を敬うこと	1137	29.3	45.6	18.7	4.2	2.2	1.0
祖先や神仏を大切にすること	1137	21.4	45.0	23.6	8.2	0.0	0.8
妻や夫を尊重すること	1137	28.7	48.1	19.6	2.4	2.2	1.0
兄弟姉妹は仲良くすること	1137	25.9	47.6	21.6	3.3	3.3	0.9
目上の者を尊敬すること	1137	22.3	50.6	21.9	4.0	4.0	0.9
礼儀正しくあること	1137	34.7	50.1	12.4	1.0	1.0	1.2
冷静であること	1137	27.1	53.7	16.4	0.9	0.9	1.0
思いやりをもつこと	1137	39.8	47.2	10.1	1.0	1.0	1.2
勤勉であること	1137	20.4	52.5	23.1	0.9	0.9	0.9
和(調和)を重んじること	1137	23.0	49.2	23.7	3.0	3.0	0.9
他人を信じること	1137	12.2	39.8	36.6	8.3	3.1	0.5
他者を尊重すること	1137	15.1	52.6	26.2	4.7	4.7	0.8
物を大切にすること	1137	33.1	51.0	13.8	0.8	0.8	1.1
困難を喜ぶこと	1137	6.0	21.2	41.7	23.0	8.1	-0.1
嘘をつかないこと	1137	25.8	46.0	22.1	4.6	4.6	0.9
決断すべきときに決断すること	1137	26.8	53.4	16.8	2.0	2.0	1.0
実行すべきときに実行すること	1137	29.8	51.7	15.7	0.9	0.9	1.1
自分を信じること	1137	27.7	50.0	18.6	2.6	2.6	1.0
希望を持つこと	1137	29.5	48.2	17.9	3.2	3.2	1.0
勇気を持つこと	1137	27.4	49.9	18.6	3.0	3.0	1.0
節制をすること	1137	17.4	47.2	29.2	4.5	4.5	0.7
広く多く学ぶこと	1137	23.3	49.4	23.4	2.6	2.6	0.9
主体性を持つこと	1137	20.0	53.4	23.7	1.8	1.8	0.9
他を羨(うらや)まないこと	1137	13.3	40.0	35.8	8.2	0.0	0.5
命を尊重すること	1137	41.6	40.2	15.4	1.8	1.8	1.2

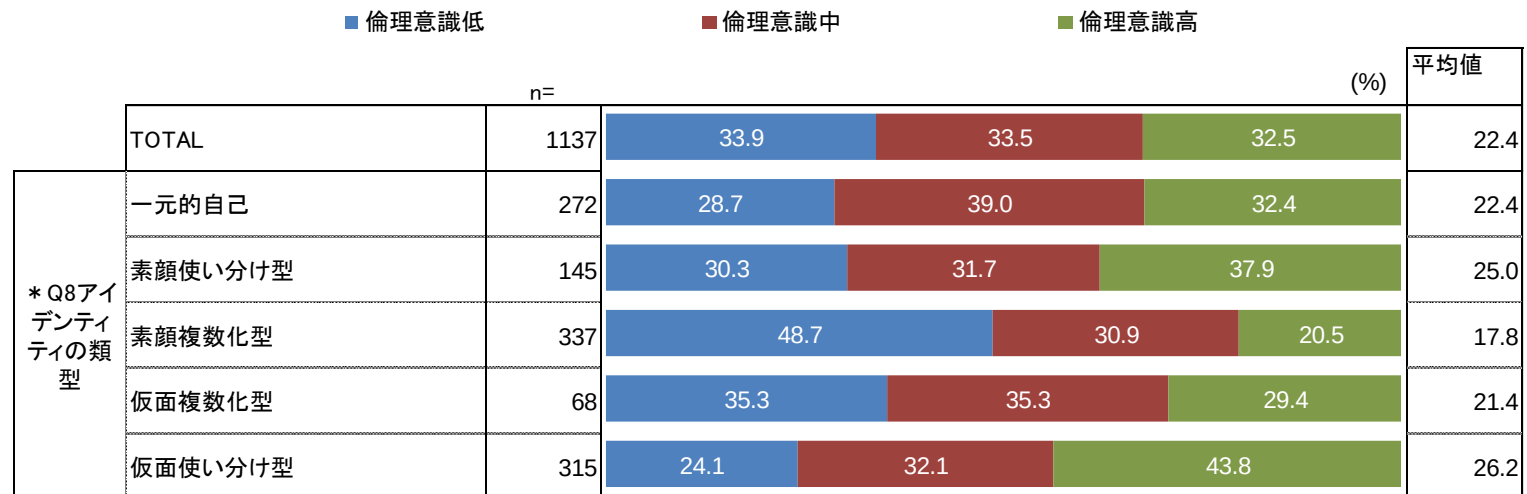
アイデンティティと倫理観

- 倫理共感度の合計得点で倫理意識を便宜的に3階層に区分し、アイデンティティとの関係进行分析した。
- 倫理意識は、「安定度高」でもっとも高く、次いで「安定度低」で高い。類型別では「仮面使い分け型」でもっとも高く、次いで「素顔使い分け型」「一元的自己」で高い。

表頭：* Q12倫理意識



表頭：* Q12倫理意識

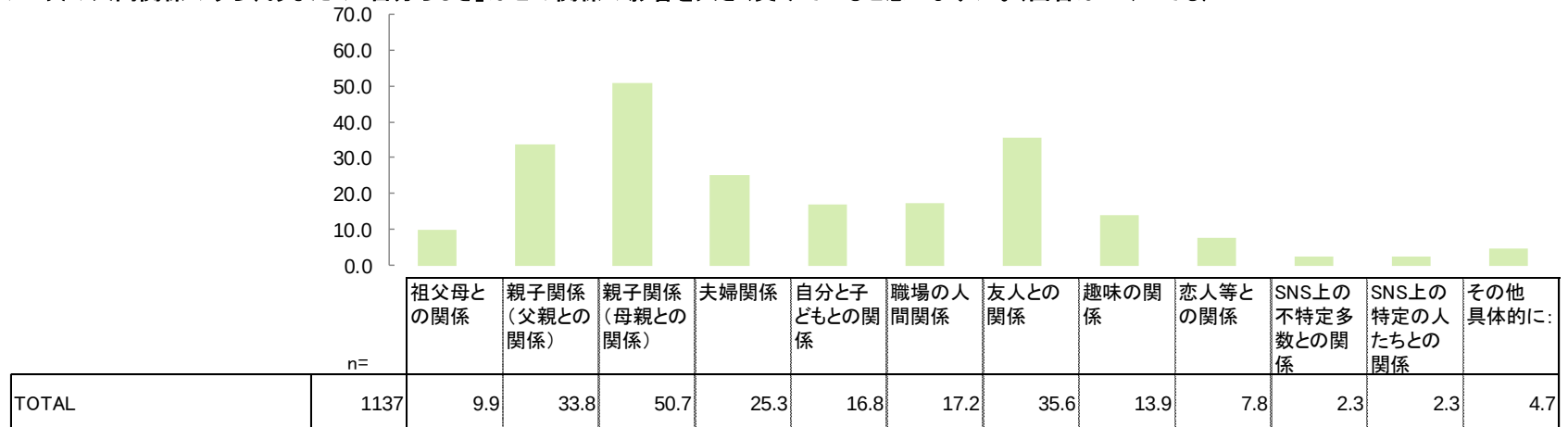


※合計得点は前頁の各尺度を「共感できる」2点、「共感できない」-2点として計算した値

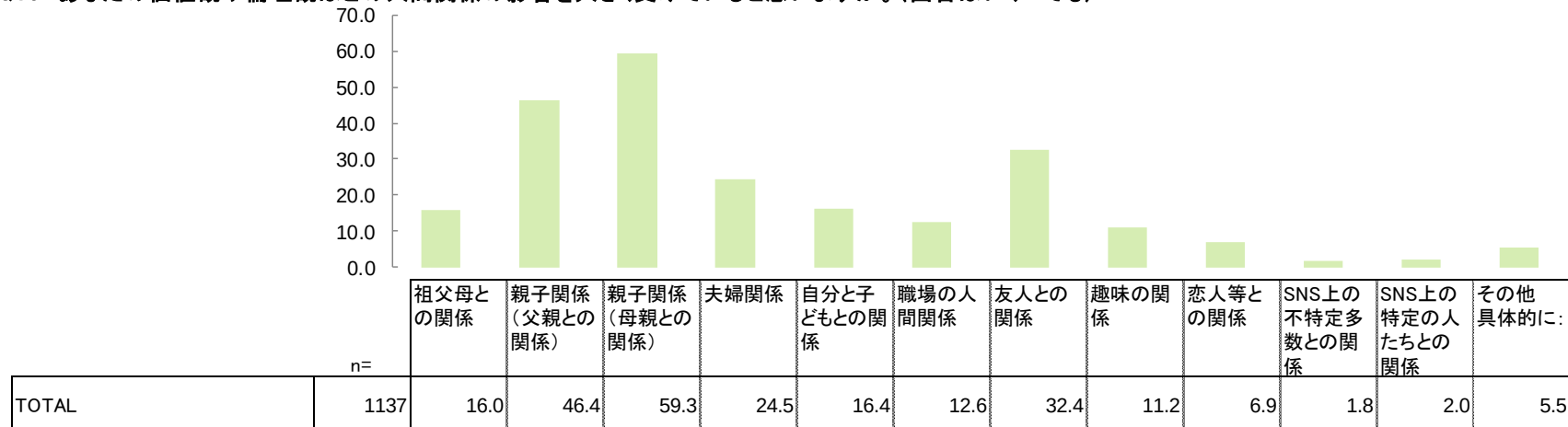
形成要因の比較(アイデンティティ、倫理観)Q9,Q13

- アイデンティティの形成要因は、倫理観と同様、母親、父親、友人の影響が大きいと答える人が多い
- SNS上の人間関係の影響については自覚的な回答は少ない。

表頭: Q9 次の人間関係のうち、あなたの「自分らしさ」はどの関係の影響を大きく受けていると思いますか。(回答はいくつでも)



表頭: Q13 あなたの価値観や倫理観はどの人間関係の影響を大きく受けていると思いますか。(回答はいくつでも)





倫理事象とアイデンティティ

倫理事象への反応(Q11)

●政治家や著名人のプライベートな不倫・不祥事については、「強く責められるべきでない」「蒸し返すのはやりすぎ」と考える人も一定割合を占め、「詮索することは下品」と考えていても多い。しかし、“公人なのだから責任は負うべき”という意識も強く、パッシングを容認する状況にあると考えられる。

Q11 次の事柄について、あなたのお考えにちかいものをお答えください。(回答は1つ)

■ そう思う ■ ややそう思う ■ どちらともいえない ■ ややそう思わない ■ そう思わない

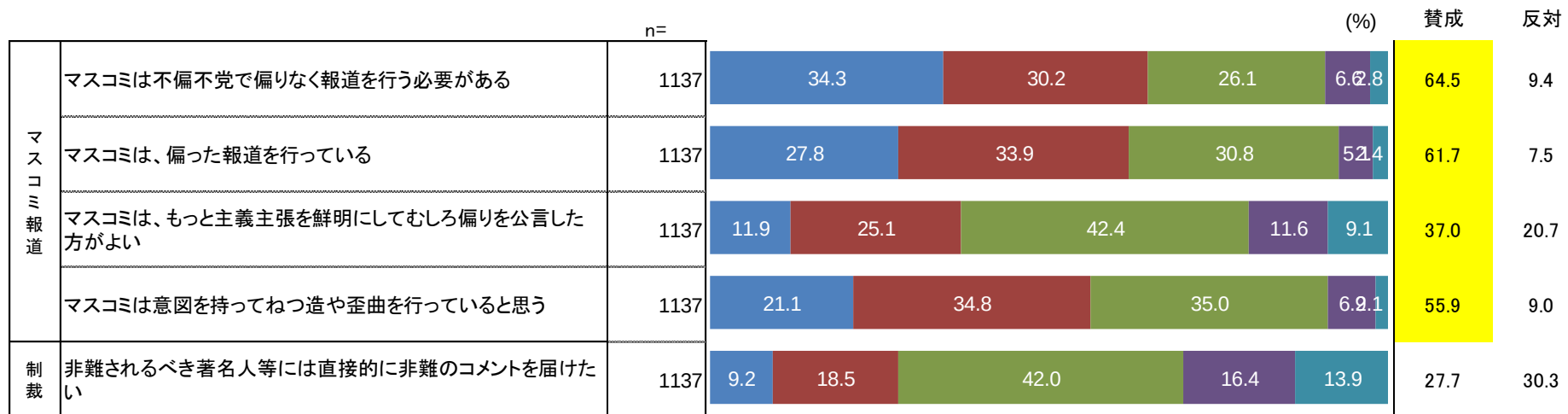
		n=						(%)	賛成	反対
女性代議士の不倫問題	政治家は政治における能力こそが重要であり、不倫などの不祥事で強く責められるべきではない	1137	6.7	23.0	32.5	17.9	19.9		29.7	37.8
	政治家は公人であり大衆の手本となるべきであり、プライベートな不祥事でも責任を負うべきである	1137	20.9	30.1	32.4	11.9	4.7	51.0	16.6	
	不祥事があった代議士が選挙で当選した場合、選挙前の不祥事について蒸し返すのはやりすぎである	1137	7.3	25.6	34.4	18.2	14.5	32.9	32.7	
著名人の不倫問題や不祥事	タレントなどの著名人は公人であり、プライベートな不祥事でも責任を負うべきである	1137	13.0	27.5	37.4	13.6	8.4	40.5	22.0	
	タレントなどの著名人のプライベートについて大衆迎合的な興味本位の詮索をすることは下品である	1137	20.7	35.1	32.7	6.9	4.6	55.8	11.5	
	タレントなどの著名人はプライベートを販売している側面もあるため、詮索をされることは避けられない	1137	11.5	39.2	34.5	9.6	5.2	50.7	14.8	

倫理事象への反応(Q11)

- マスコミについては「偏った報道をしている」「ねつ造や歪曲を行っている」と考える人も多く、必ずしも信用している状態ではないことから、いわゆるマスコミによる社会的制裁についてもそのままに受け取っている状態ではない可能性がある。
- 一方、直接的に非難のコメントを届けたい人も3割近くみられる。

Q11 次の事柄について、あなたのお考えにちかいものをお答えください。(回答は1つ)

■ そう思う ■ ややそう思う ■ どちらともいえない ■ ややそう思わない ■ そう思わない

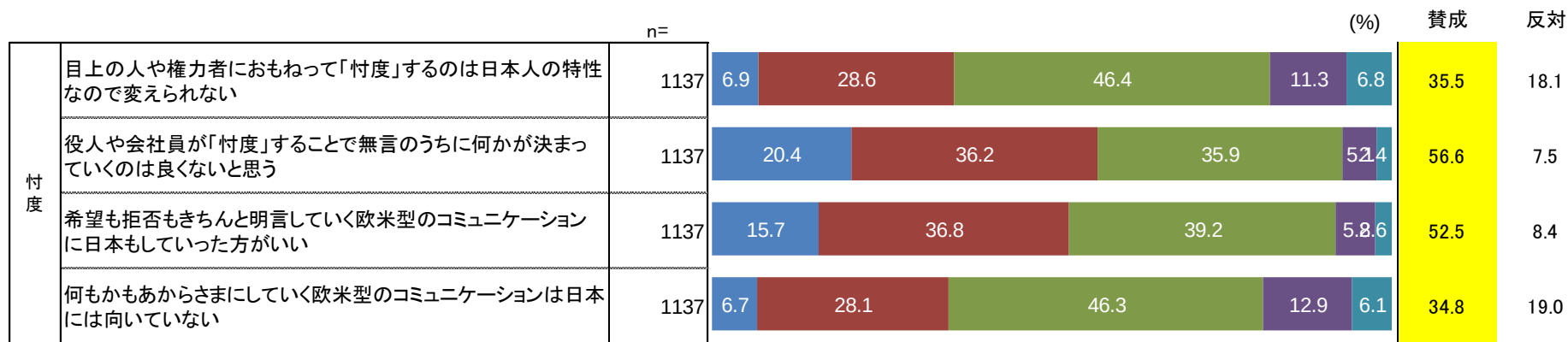


倫理事象への反応(Q11)

●流行語となった「忖度」については「良くないと思う」とする人が多いものの、「日本人の特性なので変えられない」「欧米型のコミュニケーションは日本に向いていない」も一定割合みられ、「忖度」を容認する土壌があるものと考えられる。

Q11 次の事柄について、あなたのお考えにちかいものをお答えください。(回答は1つ)

■ そう思う ■ ややそう思う ■ どちらともいえない ■ ややそう思わない ■ そう思わない

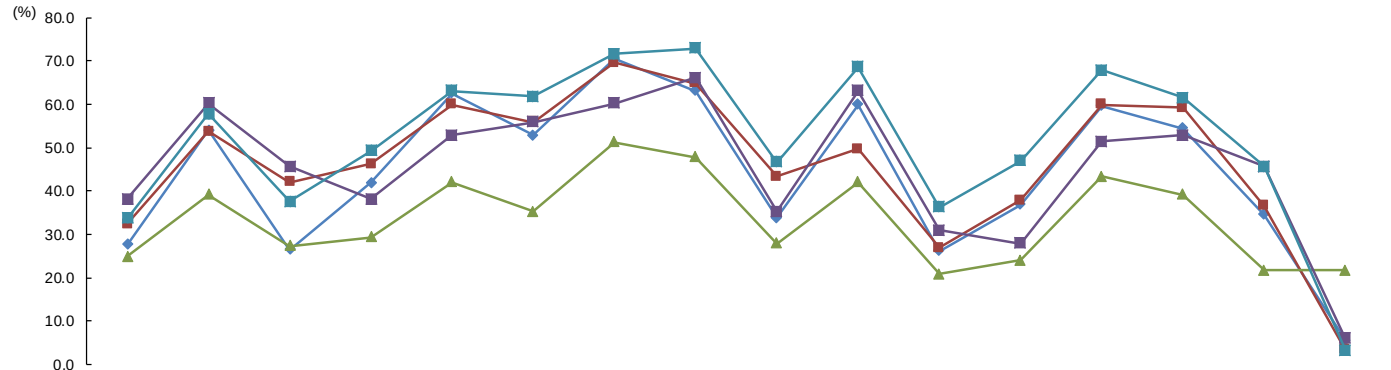


アイデンティティ類型による倫理事象への反応

●「アイデンティティの安定性が低い」＝「仮面使い分け型」が、多くの倫理事業に対して過度の(相対的に強い)反応を示す傾向がある。「素顔複数型」(男性高年層が多く含まれる傾向がある)が最も穏当な反応を示す類型であると言える。

表頭: * Q11 次の事柄について、あなたのお考えにちかいものをお答えください。(回答は1つ)

— 一元的自己(n=272) — 素顔使い分け型(n=145) — 素顔複数型(n=337) — 仮面複数型(n=68) — 仮面使い分け型(n=315)



		n=	政治家は政治における能力こそ重要であり、不倫などの不祥事で強く責められるべきではない	政治家は公人であり大衆の手本となるべきであり、プライベートな不祥事でも責任を負うべきである	不祥事があった代議士が選挙で当選した場合、選挙前の不祥事について蒸し返すのはやりすぎである	タレントなどの著名人は公人であり、プライベートな不祥事でも責任を負うべきである	タレントなどの著名人のプライベートについて大衆迎合的な興味本位の詮索をすることは下品である	タレントなどの著名人はプライベートを販売している側面もあるため、詮索をされることは避けられない	マスコミは不偏不党で偏りなく報道を行う必要がある	マスコミは、偏った報道を行っている	マスコミは、もっと主義主張を鮮明にしてむしろ偏りを公言した方がよい	マスコミは意図を持ってねつ造や歪曲を行っていると思う	非難されるべき著名人等には直接的に非難のコメントを届けたい	目上の人や権力者におもねって「付度」するのは日本人の特性なので変えられない	役人や会社員が「付度」することや無言のうち何かが決まっていくなは良いと思う	希望も拒否もきちんと明言していく欧米型のコミュニケーションに日本ももっといい方がいい	何もかもあからさまにしていく欧米型のコミュニケーションは日本には向いていない	あてはまるものはない
	TOTAL	1137	29.7	51.0	32.9	40.5	55.8	50.7	64.5	61.7	36.9	55.9	27.7	35.4	56.6	52.4	34.7	9.4
* Q8アイデンティティの類型	一元的自己	272	27.6	54.0	26.5	41.9	62.5	52.9	70.6	63.2	33.8	59.9	26.1	36.8	59.6	54.4	34.6	5.5
	素顔使い分け型	145	32.4	53.8	42.1	46.2	60.0	55.9	69.7	64.8	43.4	49.7	26.9	37.9	60.0	59.3	36.6	3.4
	素顔複数型	337	24.9	39.2	27.3	29.4	42.1	35.3	51.3	47.8	27.9	42.1	20.8	24.0	43.3	39.2	21.7	21.7
	仮面複数型	68	38.2	60.3	45.6	38.2	52.9	55.9	60.3	66.2	35.3	63.2	30.9	27.9	51.5	52.9	45.6	5.9
	仮面使い分け型	315	33.7	57.8	37.5	49.2	63.2	61.9	71.7	73.0	46.7	68.6	36.2	47.0	67.9	61.6	45.7	3.2